

分科会開催報告書

報告日 令和7年12月26日

報告者 西村康枝

分科会名 浮雲俳句会

開催テーマ 第202回浮雲俳句会

開催日時 令和7年12月21日(日)午前10時～12時

開催場所 いきいきセンター
晴嵐かなざわ

参加人数 浮雲俳句会会員 9名

実施内容

第202回例会は、兼題「冬」の1句、当季雑詠3句、合計4句。

句会は、祥代会員による選句の披講後、会員各々が選んだ特選句の選評、続いて特選に選ばれた作者のコメント。

月当番による合評後、意見・質問・添削等活発な意見交換がなされた。

「第202回 合評・ランクアップ添削の一例」について学習。

出席者全会員により、特選句7句を選ぶ。

特選句

繰り言をそっと飲み込む寒夜かな	一 翁
老いたりな夏炉冬扇の年暮るる	十 九
冬晴れや皇帝ダリア天を衝く	重 九
北国の苦悩よそめの日向ぼこ	二 点
断崖に微動だにせぬ残り鷺	和 女
野の地藏何思い聞く除夜の鐘	十 九
木の葉散る杜の装ひ七つ色	重 九

次回の予定

令和8年1月25日(日) 午前10時～12時

第203回句会は、いきいきセンター晴嵐かなざわ

投句は4句。兼題は「正月（お正月）」の1句、他に当季雑詠3句。

披講 栄子会員